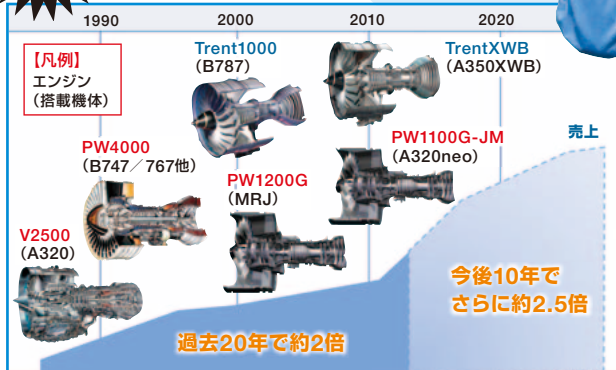


数十年先を見据えた国際共同開発

当社の航空エンジン事業は、事業の収入とリスクをエンジンメーカーと対等の立場でシェアする国際共同開発。現在の協業先は米国Pratt & Whitney社、英国Rolls-Royce社で、これまでの貢献と実績は高い評価を得ています。今後20年先、30年先を見据えてさらなる関係の強化に努め、持続した事業展開を推進していきます。



●主なエンジン (国際共同開発) P&W社 / RR社



©2015 United Technologies Corporation
©2015 Rolls-Royce plc



民航エンジンSBU長
島内 克幸

**独自の「技」の創出で
永続的な発展を目指す**

民航エンジンSBUでは、航空機のエンジンに使われる燃焼器と低圧タービン (LPT) モジュールを主に製造しています。航空機のエンジンは数万点の部品からなる精密機械。そのため社でその全てを製造するのは技術的に難しく、国際的に共同開発するのが主流です。そのような航空機の厳しい精度要求の中、当SBUは、高速レーザー加工技術やセラミック加工技術などの強みを生かして、市場での存在感を高めてきました。また、使用後のエンジンを分解・洗浄してメンテナンスまで行うことのできる数少ないエンジン整備事業所として、お客様の信頼に応え続けています。

2014年10月には、三菱重工航空エンジン(株)として独立し、より意思決定をスピーディーに行うことのできる組織となりました。現在、複数のエンジン開発プロジェクトに参画していて、2020年代前半には事業規模が約2.5倍になる見通しです。

今後はMRJのエンジン組立業務も行う予定です。旅客機用エンジンの最終組立・試験は日本の会社としては初となり、各国航空当局の厳しい審査をクリアする高い品質が必要です。今後の増産に応えるため、協力会社をはじめとした外部企業とも密に連携し、独自の「技」で新しいビジネスモデルを構築するために、全員参加で挑戦していきたいと考えています。

最先端技術を駆使した部品加工

当社が得意とする燃焼器部品は、耐久性向上のため、冷却空気穴の数が近年非常に多くなり、形状も複雑化しています。年々増加する生産要求を満たすためにも、他SBUや研究所と協力しながら世界最高水準の加工スピードを持つレーザー加工機を開発、導入しました。これにより高い生産性と大幅な加工リードタイム短縮を実現しています。

高速レーザー加工



light

各SBUの事業内容や最近の話題を紹介します。

●国産旅客機MRJを世界の大空へ

航空機が世界に羽ばたくためには、国内外航空当局により、ロバスト*な品質システムが求められます。そのため、法規の理解・社内標準への落とし込み、厳格な製造・整備作業工程の設定など、どのようなお客様からの要求にも対応できるグローバルな品質保証体制を構築しています。今後予定されているMRJ用エンジンの組立にも豊富な知識と経験で応え、MRJの安全運航を支えています。
*ロバスト：外乱の影響によって変化しない内的な仕組みのこと。



エンジン組立工場



交通・輸送ドメイン
三菱重工航空エンジン(株)

民航エンジンSBU



国産旅客機MRJに搭載されるPW1200Gエンジン。世界3大エンジンメーカーの1つPratt & Whitney社との開発に当社も参画。

©2015 United Technologies Corporation